

名物分会 ファイル 30



昨年のBBQの様子

小平東村山支部小川分会

【小平東村山・書記・近藤祐樹通信員】小平東村山支部「小川分会」は2014年の地域分会再編(旧小平支部時代)時に結成した分会で小平市小川東・西町を中心に活動しています。

BBQ、住宅デーには

多くの仲間が参加

人数は211人と、小平東村山支部内の地域分会で最も組織人員の多い分会で(9月1日時点、井上支平支部時代)。

特に、住宅デーでは小川駅(西武線)西口を出て、すぐ目の前の会場という地の利を活かし、包丁研ぎやまな板けずり、木工教室はもちろん、焼きそば・フランクフルトなどの販売、地域団体と協力してのバザーなども行ないながら、毎年大勢の来場者を獲得しています。

多くの仲間が参加

大きな事業所を抱えていないこともあり、仲間づくり(拡大)運動は少し苦手な小川分会ですが、脱退する仲間が少なく、今年は現在のところ1月比での実増ができています。年末での実増が叶うかどうか分会の組織部長を中心に状況を注視しています。



今年の新年会でお酒を楽しむ仲間たち

現在の分会役員体制は、支部のなかでは比較的に安定していますが、さらなる活性化のために新しいメンバーを作ることを目指して、日々の活動に向き合っています。

多摩西部 パズルにTシャツ等 後継対の盛り上げ企画続々

【多摩西部・電工・金子知生記】コロナ禍で、毎年恒例のイベントがどれも開催できない中で、後継者対策部として何が出来るか考えました。大人も子どもも急激な環境変化に大きなストレスを感じているだろうと思い、親子や孫と一緒に取り組める「親子deコンテスト」を企画しました。



グランプリ作品『星の観覧車』を持つ大山啓太くん

内容は3Dパズルの観覧車または手作りマスクを自由に作成してもらい、メールで写真と感想をもらい、入賞作品を決定する、というものです。グランプリに輝いたのは、大山啓太(小4)くんの「星の観覧車」という作品。「色を塗ると組み立てるのが難しかったけど、シールを貼ったり面白かったです」という感想をいただきました。

また、第2弾の「つながる」企画として「挑戦!知育バスル」・「ボードコール」のプレゼントを始めました。シニア友の会にお願いで作成してもらい、プレゼントします。木材4ピースを組み合わせて、用意した図形を作るといいう「知育バスル」と、堅い木片にアイボルトをねじ込み、回すと鳥のさえずりに似た音が出るという「ボードコール」

また、コロナ禍でも後継者世代を盛り上げるために、オリジナルTシャツを制作し、後継者世代の組合員や分会役員へ格安で販売し、多摩西部支部を盛り上げていきたいと思っています。

アマビエ描いてみた

小平東村山 當麻湊歩ちゃん



考案したアマビエイラストを湊歩ちゃんが見せてくれた

「熊本を疫病から人を守る力を持つとすはしめとす言ひ伝えられていた妖怪のこ」とす。本紙2330号の募集記事を見てさっそく応募してくれしたのは、小平東村山支部の當麻(とうま)一夫さん・晶子さんご夫妻の長女・湊歩ちゃん(小5)。アマビエについては、『妖怪シェアハウス』というテレビドラマを観ていたのを知っていたのだとか。コロナの影響で小学校が休校の間は、暇だったのでお父さんのタブレットでYouTube

ブを観たりしていたという湊歩ちゃんは、「コロナをたおす!」との想いを込めて、オリジナルのアマビエを2時間ほどで描き上げたそうです。10月26日現在の応募状況は、オリジナルイラストが21点、塗り絵が51点届いていて、応募作品は東京土建HP(DONNET)のトップページにある「みんなのアマビエイラストギャラリー」から見ることが出来ます。

募集締め切りは12月24日(木)必着ですので、まだまだ間に合います。いまだ収束の兆しが見えぬ新型コロナウイルス退散を願って、みんなのアマビエを描いて送ってください。

応募方法など詳細はHPからチラシをご覧ください。応募フォームは上のQRコードからアクセスできます。



第37回仲間の作品コンクール募集中

【厚生文化部発】コロナ禍で大勢が集まるイベントが開催できない中ですが、直接集まらなくてもできる「仲間の作品コンクール」は今年も開催します。趣味の作品を通して交流しましょう。皆さんの力作をお寄せください。

文芸の部

短歌、俳句、川柳で、3部門の中から一人につき一部門5作品まで応募できます。所定の用紙に応募部門別、首・

写真の部

句を書き入れ、所属支部を通して応募ください。コロナ禍でも自宅で楽しめる趣味として、俳句や短歌、川柳をこの機会に始めてみるのはいかがですか。目にした情景や思い、日々の暮らしの中で感じた事などを17字・31字に綴ってみましょう。どけん共済会のホームページには過去の入選作品と選評が掲載されていますので、そちらを参考にしても良いかもしれません。

組合活動、スナップ、風景、課題の4部門の中から、一人につき一部門3作品まで応募できます。今年の課題は、「家族の笑顔」。コロナウイルスを吹き飛ばすような、皆さんの大切な家族のとびっきりの笑顔を撮影してご応募ください。スマホで手軽に、キレイな写真が撮影できる時代、例年参加されている皆さんはもちろん、今まで参加されていなかった皆さんの参加を心からお待ちしております。

応募する作品は、A4サイズもしくは六つ切りでご応募ください。題名や応募部門、

氏名や所属支部などを記入する所定用紙がありますので、漏れなく記入のうえ、作品の裏面に剥がれないように貼り付けてください。

応募用紙の所定用紙は、所属の支部、または、どけん共済会のホームページに掲載していますので、忘れず応募をお願いします。入賞作品はけんせつ紙面やどけん共済会のホームページに掲載するほか、本部・けんせつプラザ東京にも展示します。また入賞者には記念品を贈呈します。